

第37回

# 羽衣国際大学能楽鑑賞会

かよ い こ ま ち

## 能 通小町

日程：2020年1月25日（土）

\*開演 14:20 ～15:40 終演予定

能「通小町」（解説付き）

\*開場 12:00 \*受付 12:00～14:15 随時

（12:45～14:00 は学生・卒業生による自演会。どなたでも歓迎。下記参照）

参加費：無料（自由席）

定員：80名

会場：堺能楽会館

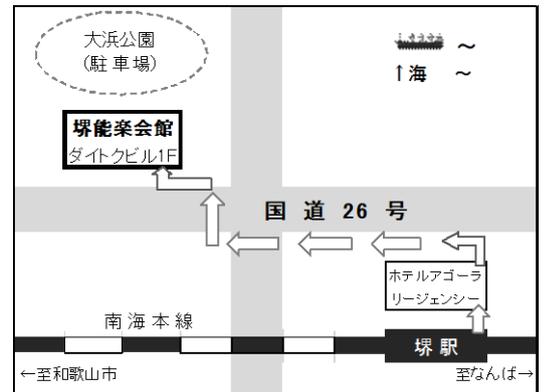
堺市堺区大浜北町 3-4-7-100

ダイトクビル 1階

TEL. 072-235-0305

南海本線「堺駅」東口から徒歩10分

◆アクセス



※会場には駐車場がないため、車の方は大浜公園駐車場をご利用ください。堺能楽会館までは公園内の道を通り、徒歩5分です。

～「通小町」演者～

シテ 四位少将 … 辰巳 満次郎 (重要無形文化財総合指定保持者)

ツレ 里の女/小野小町の霊 … 辰巳 大二郎

ワキ 僧 … 原大

笛 赤井 要介  
小鼓 上田 敦史  
大鼓 辻 雅之

～「通小町」あらすじ～

京都・八瀬の里で仏道修行する僧のもとに、毎日木の実や薪を持ってくる女がいる。僧の問いに、市原野（いちはらの）に住む者と女は答えるが、実は小野小町の霊であると僧は察した。

僧は、小町終焉の地、市原野に赴き小町を吊っていると、小町の霊が現れ弔いを喜ぶ。そこに四位少将（しいのしょうしょう）の霊が現れ、「煩惱の犬となって打たれようとも離れない」と小町の袂にすがり、成仏を引き留める。

生前、小町に恋した少将は、百日通えば思いを叶えようという小町の言葉を信じ、九十九夜小町のもとに通うも百夜目に無念の死を遂げてしまった。少将は懺悔のために、雨の夜も雪の夜もひたすら続けた苦しい〈百夜（ももよ）通い〉の有様を再現して僧に見せたあと、小町とともに成仏する。

同日・同会場にて 12:45～14:00

「羽衣国際大学宝生流能楽部と  
美羽宝生会の自演会」

仕舞や謡を披露します。どなたでも歓迎！  
「通小町」の鑑賞と併せてお楽しみください。

申込方法【申込期限 1/23(木)】:

「能楽希望」と記載し、ご氏名・参加希望者数・TEL・住所を明記の上、往復ハガキまたは、FAX か e メールにて、下記へ送付してください。

羽衣国際大学

学術情報・地域連携センター

〒592-8344 堺市西区浜寺南町 1-89-1

TEL. 072-265-7145

FAX. 072-265-7008

メール shakoza@hagoromo.ac.jp